

羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成

実計

重点

予算額 2億5,939万8千円

副題：世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成します

ポイント

羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）」（以下、「第一期事業」。）の平成32年のまちづくりの概成、34年の全施設開業に向けて、羽田空港跡地における事業は新たなステージに進んでいます。

区内中小企業をはじめとする地域経済の活性化や、おおたの魅力発信に寄与する、「新産業創造・発信拠点」の形成を公民連携により取り組んでいきます。

事業概要

世界と地域をつなぐゲートウェイとして国内外のヒト・モノ・情報を呼び込むとともに、大田区のものづくり技術、優れた日本の文化などの魅力を発信する「新産業創造・発信拠点」の整備を進めていきます。

1 拠点形成に係る取組み推進

3,488万6千円

32年のまちづくりの概成を見据えた広報活動を進めるとともに、第一期事業にかかる各種のモニタリングを実施し、着実な事業推進を図ります。

2 基盤施設の整備推進

1億271万2千円

第1ゾーンの基盤施設整備を進めるとともに、引き続き、第2ゾーンの既設防潮堤を活用した都市計画緑地整備工事を進めます。また、「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」の重点プロジェクト「羽田の歴史の伝承」の具体化に向けた取り組みを進めます。

3 「羽田空港跡地第1ゾーン」都市計画公園整備予定地等の土地活用事業推進

4,180万円

東京2020オリンピック・パラリンピック開催年における暫定的な土地活用に関する取り組みや、「羽田空港跡地第1ゾーン整備方針」を踏まえ、都市計画公園や水辺に隣接した土地等を活用した憩いと賑わいの創出の検討を行います。

4 産業交流施設に係る取り組み推進

8,000 万円

32年のまちづくり概成に向けて、区施策活用スペースの魅力をも高めるソフト支援面の検討やテナントの誘致活動等の取り組みを行います。



問合先	担当部課	上記 1・2・3	空港まちづくり本部	空港まちづくり課
		上記 1・4	産業経済部	産業振興課
	課長	上記 1	山浦	電話 5744-1537 (事業調整担当)
		上記 1	鈴木	電話 5744-1648
		上記 2	中村	電話 5744-1646 (空港基盤担当)
	上記 1・4	臼井	電話 5744-1614 (産業交流担当)	
	副参事	上記 2・3	立花	電話 5744-1668 (工事調整担当)
	担当者	上記 1	毛塚・祭原	電話 5744-1650
		上記 2	内田・宮森	電話 5744-1650
		上記 3	祭原	電話 5744-1650
		上記 1・4	三須	電話 5744-1641

新空港線の整備主体設立及び関連事業

実計

重点

予算額 1億9,032万2千円

副題：新空港線の早期整備に向けて着実に取り組んでいきます

ポイント

新空港線事業は、都市鉄道等利便増進法を活用して整備することを考えています。新空港線が整備され、蒲田駅と京急蒲田駅間の800mが鉄道で結ばれることで、区内の利便性が向上します。更に、羽田空港と渋谷・新宿・池袋などの副都心や和光・所沢・川越などの埼玉方面が繋がり、東京圏北西部に新たな広域交通ネットワークが構築されるとともに、災害時や緊急時の代替ルートの役割も担います。

事業概要

1 新空港線の整備主体設立に向けた取り組み

新空港線事業は、平成28年4月の国土交通省の交通政策審議会答申第198号において「進めるべき」とされた6路線に位置付けられています。

現在、関係者間で鋭意協議を進めております。

区は合意形成が図られた後、事業を滞りなく進めるために整備主体設立に向け取り組んでいきます。



つながり はばたけ 新空港線

大田区は JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ
新空港線(蒲蒲線)の実現を目指しています。

新空港線(蒲蒲線)が、日本の空の玄関・羽田空港と
飛躍する東京の「未来」と「夢」をつなぎます。

蒲田 京急蒲田 羽田空港跡地第1ゾーン 羽田空港

渋谷 新宿三丁目 池袋 小江戸・川越市

2 新空港線の広報・啓発活動

より具体的な事業計画などを区民一人ひとりに理解いただけるよう、引き続き広報・啓発活動に取り組みます。



啓発活動の様子（OTAふれあいフェスタ 2018（スタンプアート））

3 多摩川線沿線駅周辺地区のまちづくり

新空港線事業の進捗状況にあわせて、東急多摩川線沿線駅周辺のうち「おおた都市づくりビジョン」における重点地区について、まちづくりの方向性やまちの将来像を検討します。

問合先	担当部課	上記 1・2	まちづくり推進部	都市計画課
		上記 3	まちづくり推進部	都市開発課
	副参事	上記 1・2	遠藤	電話 5744-1736（新空港線担当）
	課長	上記 3	近江	電話 5744-1454（地域整備担当）
	担当者	上記 1・2	片平	電話 5744-1303
		上記 3	富永	電話 5744-1339

空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査

実計

重点

予算額 2,410 万円

副題：「働いてよし、訪れてよし、暮らしてよし」の

空港臨海部まちづくりを目指します

ポイント

空港臨海部は、陸・海・空のネットワークの要であるとともに、日本の玄関口である羽田空港をはじめ、工場・物流施設等や魅力ある公園等の観光資源を多数有しています。

近年、空港臨海部を取り巻く社会状況が大きく変化しているため、「空港臨海部グランドビジョン 2030」を改定し、目指すべき将来像を見直します。

事業概要

平成 24 年度から空港臨海部における課題整理及び「重点地区（※）」のプロジェクト実施に向けた調査・検討を行ってきました。

今後も島部の産業振興やにぎわい創出、円滑な交通ネットワーク等の実現を目指します。※重点地区とは、羽田旭町周辺、流通センター駅周辺、大森ふるさとの浜辺公園周辺の 3 地区です。

1 空港臨海部グランドビジョン 2030 改定

近年の社会状況を踏まえ、また臨海部を取り巻く社会動向の変化や現ビジョンにおける事業の達成状況を把握したうえで、未解決の課題を整理し「空港臨海部グランドビジョン 2030」を改定します。



2 空港臨海部まちづくりの調査検討

重点地区の民間開発や重点地区のプロジェクトの検討・協議を継続し、区事業の進捗にあわせて着実に事業を推進します。

また、島部のまちづくりビジョンの実現を目指し、地元団体等と課題整理や施策方針等の協議を進めます。



3 空港臨海部交通ネットワークの調査検討

内陸部からのアクセス強化と回遊性の向上を目的に実現した改善策の効果検証を進めます。

とりわけ、民間事業者による定期運航に合わせ、島部における多様な移動手段の検討・状況把握や、船着場周辺の活性化に引き続き取り組めます。



大森ふるさとの浜辺公園船着場

問合せ先	担当部課	まちづくり推進部 都市計画課		
	課長	神保	電話	5744-1671 (空港臨海部調整担当)
	担当者	吉田	電話	5744-1332

勝海舟記念館 開館に向けた取り組み

実計

重点

予算額 1億1,818万7千円

副題：今夏、洗足池の畔に、日本初の勝海舟記念館がいよいよ開館

ポイント

日本初の勝海舟記念館として、勝海舟の想いを伝えるとともに、国登録有形文化財の旧清明文庫を保存・活用した施設として、建物の魅力も伝えていきます。

また、開館に向け、気運醸成を図るための事業・広報を推進するほか、開館後の展示替えも見据えた展示制作を行うなど、魅力ある記念館を運営します。

事業概要

1 開館に向けた気運醸成事業及び広報の推進

開館に向けた気運を一層高めるため、100日前イベントを行うほか、内覧会及び開館セレモニーを実施します。

また、専用広報紙、SNS、歴史雑誌、電車広告等、各種媒体を活用し、記念館及び勝海舟基金のPRを推進します。



「勝海舟と大田区」トークショー
(平成30年12月実施)

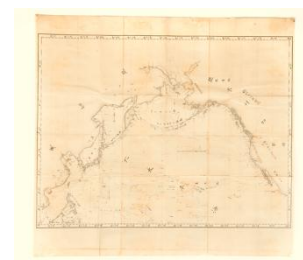
2 開館準備経費（オフィシャルグッズの制作等）

魅力ある展示や記念館の運営ほか、講演や寛ぎの場としても快適に利用できるよう、椅子及び机等の調度類を購入します。また、オフィシャルグッズ、リーフレット及び図録等を制作します。

3 展示資料の購入・修復

江戸時代末期から明治時代の勝海舟ゆかりの資料を購入し充実させます。

これらの支出には、勝海舟基金への寄附金も充当します。



咸臨丸航路図

4 展示制作の追加

貴重な実物資料の質を保持するため、1階では、常時展示する予定の資料「肖像写真」「咸臨丸航路図」等のレプリカを制作します。

また、別荘として構えた洗足軒の歴史を伝える「洗足軒ノ記井歌」「書額洗足軒」等のレプリカも制作します。

2階では、1階の展示内容を分かりやすく解説するため、ジオラマにAR機能を施し、スマホアプリと連動させたコンテンツや、館内の文化財についてワークシート等を制作し、広く来館者が楽しめるような展示にします。

5 ミュージアムショップの設置

記念館にはミュージアムショップを設置し、グッズの制作を行います。



ARのイメージ図



記念館 完成イメージ

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	文化振興課
	部長	町田	電話 5744-1726 (スポーツ・文化担当)
	担当者	小池	電話 5744-1653

シティプロモーションの推進

重点

予算額 1,525万3千円

副題：専門サイトや関連イベントを活用し、区のイメージ向上を図ります

ポイント

専用サイトや関連イベント等を活用した区の魅力発信を積極的に行い、区民から見た区への愛着度、推奨度の向上、来訪者から見た区の魅力度、認知度、イメージの向上等を図ります。

事業概要

1 シティプロモーション推進事業

専用サイトやイベント等を活用し、区への興味、関心や来訪意欲が高まるような情報発信を、積極的かつ効果的に行います。

(1) シティプロモーション専用サイトの機能拡充、保守運用

専用サイト（平成30年度構築）の機能拡充、保守運用を行います。

(2) シティプロモーション関連イベントの誘致

シティプロモーションに資するイベントの誘致を促進し、「まち」というプラットフォームを区が提供することで、来訪者の回遊性向上や商店街の活性化等による地域経済の活性化を目指します。

推進にあたっては、地域の関連団体との更なる連携強化に努め、より効率的な事業推進を図ります。

【平成30年度実績】

シティプロモーション関連イベントとして以下展示会を開催。

- ・ 主題：特撮のDNAー『ゴジラ』から『シン・ゴジラ』までー
- ・ 期間：30年12月19日(水)～31年1月27日(日)
- ・ 会場：日本工学院専門学校「ギャラリー鴻」
- ・ 主催：JTBコミュニケーションデザイン、讀賣新聞社
- ・ 共催：大田区



展示会の様子

問合先	担当部課	企画経営部	広聴広報課
	課長	政木	電話 5744-1131
	担当者	曾田	電話 5744-1132

M I C E の推進

実計

重点

予算額 668万1千円

副題：「大田区らしいM I C E」の確立を目指して

ポイント

重層的な消費・経済活動を伴うM I C Eの開催は、開催地への経済波及効果が大きく、地域経済の活性化、ひいては開催地である区のブランド力・認知度向上につながります。区では、推進体制、区内資源、対応力、誘致活動の視点から、その構築、底上げ等に取り組み、「大田区らしいM I C E」の確立を目指します。

事業概要

関係者（ステークホルダー）と連携し、オール大田による推進体制、誘致に向けた支援体制等を検討・強化しながら、M I C E誘致を推進します。

1 大田区M I C E推進会議

学識経験者、民間事業者等で構成する会議体を運用し、M I C E誘致の組織的（公民連携）な推進に取り組みます。

2 開催等に対する支援・助成

区内でのM I C E開催にかかる経費補助（モデル事業）や観光情報の提供等、主催者への支援・助成を行います。

3 I M E（国際M I C Eエキスポ）出展

コンベンション施設等のPR、M I C Eバイヤーとの具体的な情報交換等を目的に、M I C E商談会に出展します。



開催事例（大田区産業プラザP i O）



問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 観光課	
	課長	吉川	電話 5744-1321
	担当者	鈴木	電話 5744-1322

「OTA!いちおしグルメ」表彰

予算額 755万1千円

副題：料理や雰囲気、サービスが優れた区内の店舗をPRします

ポイント

「OTA!いちおしグルメ」では、毎年、区が自信を持ってお勧めできる素晴らしい飲食店を紹介しています。料理の美味しさはもちろん、サービス、店舗デザインなど細部にわたるまで厳しい審査基準をクリアした店舗です。「OTA!いちおしグルメ」を通じて「食の大田区」の魅力を多くの方に周知します。

事業概要

区内の特色を持った商店（飲食店）を表彰・PRすることで、区内商業の活性化を図ることを目的としています。平成31年度で9年目となり、表彰店舗も100店舗を超えました。これまで、外国語版リーフレットや、Webサイトを開設するなど、インバウンド客をターゲットにしたPR活動を行ってきました。31年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、確実に増える国内外の来訪者を主な対象とした、過去の表彰店舗すべてを網羅した冊子を作成し、表彰店舗を幅広くPRします。



日本料理 衛藤（表彰店舗）



表彰式の様子



リーフレット

問合せ先	担当部課	産業経済部 産業振興課	
	課長	小澤	電話 5744-1337
	担当者	川島	電話 5744-1373

「大田のお土産 100 選」 表彰 実計

予算額 931 万円

副題： 100 選を達成しプロモーションを拡充します

ポイント

3年目を迎えた「大田のお土産 100 選」は、「OTAふれあいフェスタ 2018」など公的イベントだけでなく、駅ビルや、大型商業施設など民間企業主催の催事・イベントに多数出展するとともに、公共交通機関の広告掲出を積極的に行ったことから各方面で多くの反響を得ています。平成 31 年度は表彰事業の最終年度として、より一層のプロモーションを推進します。

事業概要

1 100 の製品・商品の選定

「食品分野」、「ものづくり分野（雑貨を含む）」の 2 つの分野で、大田区ならではの美味しい食品や、卓越した技術力を活かした魅力ある製品・商品を募集。実地調査・審査会を経て、表彰製品・商品（事業者）を決定します。表彰事業の最終年度となる 31 年度は 100 点の選定を目指します。

2 プロモーションの拡充

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、特設 Web サイトの充実の他、公共交通機関の広告掲出や民間企業との連携など、効果的なプロモーション展開を行い、区内外に幅広く「大田のお土産 100 選」を PR し、地域経済の活性化につなげます。



平成 30 年度「最優秀賞」
貴客上餅
穂寿庵
(有限会社 高橋総合食品本舗)

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	小澤	電話 5744-1337
	担当者	川島	電話 5744-1373

(仮称) 大田区産業振興構想策定

新規

実計

重点

予算額 7,181 万円

副題：『産業のまち大田区』の将来像を示します

ポイント

大田区産業を取り巻く環境の変化に対応して、大田区産業振興基本戦略の見直しに向けた取り組みを開始します。

事業概要**1 (仮称) 大田区産業振興構想策定支援業務委託**

区は平成 21 年 3 月に、10 年間を計画期間とする「大田区産業振興基本戦略」を策定し、産業振興施策を推進してきました。

この間、大田区の産業を取り巻く環境は大きく変化し、今後も急激なスピードで変化していくことが予想され、技術革新による産業構造等の変化に的確に対応しながら、既存産業の維持・発展を図ると同時に新たな産業分野の開拓と成長を推進していくことが求められています。

そのため、区内の多様な産業分野にも視野を広げ、産業のまち大田区の目指す将来像を明らかにし、区の産業政策の方向性と具体的な施策を示す(仮称)大田区産業振興構想の策定に 31 年度からの 2 か年で取り組みます。

2 大田区ものづくり産業等実態調査委託

最新のものづくり産業等の実態を把握することを目的として、大田区ものづくり産業等実態調査を実施します。

調査結果は、工業振興施策に反映させるとともに、(仮称)大田区産業振興構想の基礎的資料として活用します。

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	小澤	電話 5744-1337
	担当者	藤田	電話 5744-1363

知的財産権（知財）マッチング **新規**

予算額 140万3千円

副題：大手企業の知財と区内企業のニーズを結びつけ、事業化を目指します

ポイント

大手企業が保有する特許などの知財を区内中小企業のニーズや技術力に合わせて紹介し、新製品・新技術開発のきっかけをつくります。

事業概要**1 知財マッチング会の開催**

大手企業が保有する知財と大田区中小企業のニーズを結び付けるためのマッチング会を開催します。

2 コーディネートの実施

（公財）大田区産業振興協会が区内企業のヒアリングを実施し、具体的なニーズを把握します。その後、大手企業側に対して知財の提案を依頼し、コーディネートします。知財マッチング会での発表に結びつけ、マッチング会終了後も大手企業側と中小企業側との連携調整を行い、事業化に向けた継続的なサポートをします。

問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	臼井	電話 5744-1614（連携推進担当）
	担当者	奥田	電話 5744-1340

産業クラスター形成

実計

予算額 1億1,394万6千円

副題：ネットワークを繋いでイノベーションを創出します

ポイント

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催と、平成 32 年に概成する羽田空港跡地第 1 ゾーンの展開を見据え、産業クラスターを戦略的に創出し、地域産業力の向上と受注獲得に繋がります。

事業概要

1 障がい者用スポーツ用具の開発

2,500万円

東京 2020 パラリンピック参加選手による採用を目指した「車いすバスケットボール用車いす」等の製品開発を通じて、区内企業の開発力向上と企業間連携の促進を図り、将来的には福祉・介護分野での受注獲得につなげます。



2 戦略的産業クラスター形成パイロット事業

8,894万6千円

羽田空港跡地第 1 ゾーンで展開される先端産業分野創造の動きを区内産業につなぐため、「次世代モビリティ」、「ライフサイエンス・ヘルスケア」、「ロボティクス」を中心に製品開発に取り組みます。



問合先

担当部課	産業経済部	産業振興課
課長	臼井	電話 5744-1614 (連携推進担当)
担当者	奥田	電話 5744-1340

IoT 仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト

実計

予算額 1億2,000万円

副題：仮想工場「IoT ファクトリー」により区内企業の生産性向上を図ります

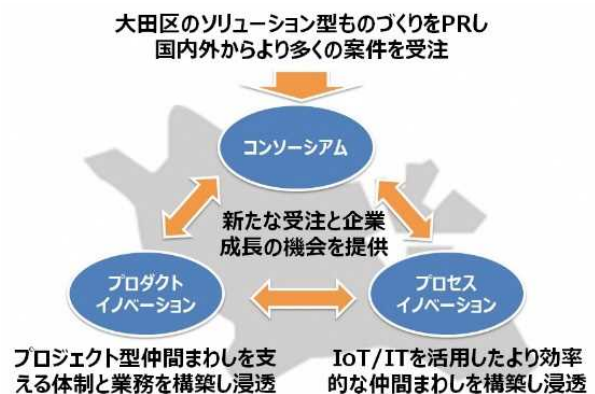
ポイント

区内企業が IoT 技術を活用し、仮想工場「IoT ファクトリー」を作り上げることで、発注者に対し効率的なものづくりを提供できる基盤を整備します。完成品を設計から手がける付加価値の高い仕事の受注を拡大します。

事業概要

1 IoT 仲間まわしによる中小企業の生産性向上

区内企業が IoT 技術を活用し効率的な工程管理を行う「プロセスイノベーション」と、提案型企業を目指す「プロダクトイノベーション」を通じて「仲間まわし」の生産性向上を図ります。本年度は実証実験の主体となる「コンソーシアム」の参加企業を増やし、自主運営化を進めるとともに、効率的な仲間まわしに寄与する IoT ツールの検証を進めます。



問合せ先

担当部課	産業経済部	産業振興課
課長	臼井	電話 5744-1614 (産業交流担当)
担当者	三須	電話 5744-1641

海外人材連携構築事業（OTA TRANSIT）

重点

予算額 500万円

副題：海外人材を大田区ファンにするプログラムを実施します

ポイント

羽田空港跡地の開発を契機に「ものづくり」「技術力」「商い」等の産業資源を融合させて、国際的なビジネス展開の起点をつくるための事業を実施します。

事業概要

1 海外人材連携構築事業（OTA TRANSIT）

将来的に活躍し得る海外の政府・自治体職員、技術者、訪日留学生等をターゲットに、大田区の産業経済・文化の多角的視点から、大田の商い力、高度な技術力、魅力ある文化などを体感する産業交流プログラムを実施します。

また、プログラムに参加し、体感した大田区の産業の魅力について参加者自らがSNSを活用して自国への情報発信を誘導することにより、取引機会の増加など大田区の産業の活性化を目指します。



問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	臼井	電話 5744-1614（産業交流担当）
	担当者	三須	電話 5744-1641

スタートアップとものづくり企業の連携創出実証実験

実計

重点

予算額 8,423万6千円

副題：協創プロジェクト実施により産業交流施設に係る取り組みを推進します

ポイント

スタートアップ（ベンチャー企業）など多様な主体が参画し、製品開発などを図る「協創プロジェクト」を推進するため、区内企業と国内外の有望なハードウェアスタートアップとの連携創出を図ります。

事業概要

1 スタートアップとものづくり企業の連携創出

平成30年度は、東南アジア6か国（シンガポール、フィリピン、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア）との連携創出事業により、3案件の試作・製品開発に取り組むことに成功しました。

将来性が見込まれるスタートアップを発掘し、伴走支援体制による区内企業との連携を創出します。



問合先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	臼井	電話 5744-1614（産業交流担当）
	担当者	三須	電話 5744-1641

(仮称) 南六郷創業支援施設の整備

新規

実計

予算額 7,976万1千円

副題：ビジネスアイデアの市場化を目指し、創業希望者を支援します

ポイント

ものづくりのまち六郷に、インキュベーション施設を整備します。

平成33年度のオープンを目指し、31年度は実施設計と準備工事を行います。シニア、子育て世帯、若者など、多様な創業希望者のニーズに応えるため、ユニバーサルデザインに配慮した設計とし、多くの方に活用していただける施設とします。

事業概要**1 (仮称) 南六郷創業支援施設の整備**

32年度の工事に向けて、実施設計、地盤調査等を行います。

セミナーや創業相談に利用できるオープンスペース、仲間との協創を促すシェアードオフィス、仕事に集中できる個室、工作機械を使用して簡易なものづくりができる試作スペースを設けます。また、ユニバーサルデザインに配慮した設計とします。



問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	石川	電話 5744-1347 (工業振興担当)
	担当者	眞野	電話 5744-1376

公園のライトアップ事業 **重点**

予算額 661万3千円

副題：大田区の魅力を発信する公園づくりを進めます

ポイント

国内外から多くの方が来園する魅力ある公園づくりを目的に、新たな夜間景観の演出として、公園施設のライトアップを実施します。

事業概要

平成30年度に試行的に実施したライトアップ事業の成果をもとに、更にレベルアップしたライトアップ工事を実施します。

1 池上梅園 観梅期ライトアップ

池上梅園は、庭園拡張、隣接道路の石畳化、管理棟新設に加え、地下鉄高架下の歩道・駐輪場の整備が完了しています。更なる魅力アップのため、夜間も満開の梅を楽しんでいただけるように、池上梅園内のライトアップを実施します。

2 大森ふるさとの浜辺公園 ライトアップ

OTAふれあいフェスタの開催に合わせてライトアップを実施し、更なる魅力アップを図ります。



池上梅園ライトアップ
(イメージ)



大森ふるさとの浜辺公園ライトアップ状況



問合先

担当部課 都市基盤整備部 地域基盤整備第一課

課長 柞木 電話 5764-0626

担当者 吉川 電話 5764-0643

大田区都市計画マスタープラン改定

新規

実計

予算額 2,564万8千円

副題：将来を見据えたまちの将来像やまちづくりの方針を示します

ポイント

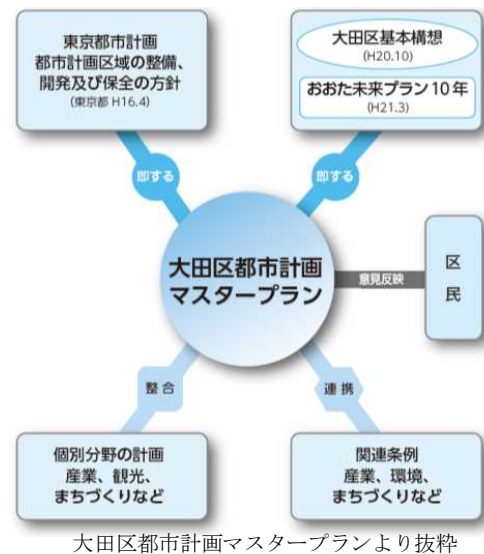
大田区都市計画マスタープランは、「大田区基本構想」や「おおた未来プラン10年」などに即して、概ね20年先を目標年次として定めた都市計画の基本方針です。

平成23年3月の前回改定以降、社会動向の変化やまちづくりの進展など、区内外を取り巻く状況に大きな変化が生じているため、改定に向けた取り組みを開始します。

事業概要

区は、11年5月に、「大田区都市計画マスタープラン」を策定し、「多様な特性と地域力が結びつき活力と快適性を生み出し、世界に開くまち 大田」を都市づくりの理念として、魅力ある都市づくりを推進してきました。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催、訪日外国人客数の増加及びスクエアなまちづくりの進展などの変化を踏まえ、改めて具体性ある将来ビジョンを確立し、その実現に向けた都市づくりを進めていく必要性が高まっているため、「大田区都市計画マスタープラン」の改定を31年度からの3か年で取り組みます。



問合先

担当部課 まちづくり推進部 都市計画課

課長 榊原 電話 5744-1331

担当者 須貝 電話 5744-1333

蒲田駅周辺地区の整備

実計

重点

予算額 3億2,525万9千円

副題：蒲田駅前空間の再生整備 ～蒲田駅周辺再編プロジェクト～

ポイント

区を中心拠点である蒲田駅周辺地区については、平成21年度に策定した「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」を具現化するため、25年度に「蒲田駅周辺再編プロジェクト」を策定し、これを基に初動期においては蒲田駅東口駅前広場や東口地下自転車駐車場の整備を進めています。

また、中長期においては、策定後10年が経過した「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」の更新が必要なことから、駅前広場、駅舎・駅ビル、周辺街区が一体となった快適性・機能性・利便性の高い駅前空間を検討します。

事業概要

1 蒲田駅周辺再編プロジェクト推進業務

蒲田駅周辺地区グランドデザインの更新を目指し、蒲田駅東西自由通路の設置をはじめ具体的な駅周辺の中・長期整備計画の検討を進めていきます。

また、駅前街区の共同建替えに向けた地権者組織の活動について引き続き支援します。



現在の蒲田駅東口駅前広場

2 蒲田駅東口駅前広場の再生整備

駅前広場及び地下自転車駐車場の詳細設計を行います。



蒲田駅東口駅前広場整備イメージ

問合せ先	担当部課	上記1	まちづくり推進部	都市開発課
		上記2	都市基盤整備部	建設工事課
	課長	上記1	大見	電話 5744-1351 (拠点まちづくり担当)
		上記2	浦瀬	電話 6436-8720
	担当者	上記1	伊部	電話 5744-1339
		上記2	小泉	電話 6436-8728

大森駅周辺地区の整備

実計

重点

予算額 2億7,764万4千円

副題：中心拠点にふさわしい大森のまちづくりを推進します

ポイント

大森駅周辺地区では、池上通り（補助28号線）を始めとする都市基盤施設整備や沿道まちづくりを推進します。また、東口駅前広場の歩行者空間整備や中長期を見据えた再編整備の検討を実施します。さらに、平和島駅周辺の歩行者環境改善に向けた検討を進めます。

事業概要

1 駅西側都市基盤施設整備に係る都市計画決定手続きと沿道まちづくり活動支援

都市基盤施設の整備方針を踏まえて、池上通り（補助28号線）の整備と合わせた（仮称）大森駅西口広場の都市計画決定手続きを行います。

また、地権者組織によるまちづくり活動を引き続き支援します。



大森駅西口周辺の都市基盤施設の整備イメージ図

2 駅東側公共施設の再編整備等

(1) 大森駅東口駅前広場等再整備構想の検討

臨海部や羽田空港への交通の起点としての機能充実を図るため、駅前広場の再整備を含む公共施設の再編構想を検討します。

(2) 大森駅東口駅前広場（交通島）整備工事

歩行者空間（交通島部分）において、「臨海部」の玄関口にふさわしい快適で賑わいのある駅前の実現に向けて暫定整備を実施します。

3 平和島駅周辺の歩行者環境改善の検討

朝・夕の通勤・通学ラッシュ時間帯における、平和島駅前の第一京浜国道を横断する歩行者の滞留改善に向けた検討を進めます。

問合先	担当部課	上記1・2(1)・3	まちづくり推進部	都市開発課
		上記2(2)	都市基盤整備部	建設工事課
	課長	上記1・2(1)・3	大木	電話 5744-1341
		上記2(2)	浦瀬	電話 6436-8720
	担当者	上記1・2(1)・3	藏方	電話 5744-1339
		上記2(2)	藤木	電話 6436-8728

国際都市おおた協会の取り組み

新規

実計

重点

予算額 503万9千円

副題：開設2年目を迎える協会の新規事業を紹介します

ポイント

平成30年4月から事業を開始した一般財団法人国際都市おおた協会は、多文化共生の理解啓発のための広報や講座、日本人と外国人が相互理解を深めるための機会の提供など新たな事業に取り組んでいきます。また、区からこども日本語教室の運営やシティナビゲーションの発行などの事業を引き継ぎ、国際都市おおたを推進します。

事業概要

1 広報・情報発信業務

203万1千円

区に在住する外国人との相互理解を深めるため、その国の生活習慣や文化的背景などの情報を発信していきます。

2 多文化共生意識啓発と相互理解への促進

118万7千円

東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、事前キャンプを受け入れるブラジルや区内在住者の多い国を取り上げ、おもてなしの方法を講座形式で学びます。また、文化紹介や多文化交流を目的とした講座なども実施します。さらに、外国人が円滑な地域生活を送るために、日本の生活習慣などを母国語で学ぶ機会を提供するほか、日本の文化を学び交流を深めるための多文化交流会を開催します。

3 グローバル人材の育成・活用

178万円

区在住・在勤の外国人就労者に対し、ビジネスで役立つ日本語教室等の開催や、習慣・ビジネスマナーを学習する場や情報を提供します。

4 国際協力を視野に入れた活動

4万1千円

国際協力の実践者の体験談を聞き、世界の現状を知るとともに、一人ひとりができることを考える講座を実施します。

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部	国際都市・多文化共生推進課
	課長	高野	電話 5744-1719
	担当者	丹沢	電話 5744-1227